

「知ってる？^{は ら かん が い せき}幡羅官衙遺跡」



No. 6 郡役所で催された^{うたげ}宴

前回ご紹介した館のすぐ近くからは、大きなごみ捨て穴が見つっています。この中からは、通常は腐って残らない^{しょくもつざんし}食物残滓が多く出土し、貝ではハマグリとアカニシ、哺乳類ではシカ・イノシシ・ウシ・ウマ、魚類ではニシン科・コイ・フナ・アユ・サケ科・アジ科・タイ科・カツオ・サバ属、鳥類ではスズメ目・キジ科・カモ亜科、その他バフンウニなどが確認されました。遠方から取り寄せなければならないものも多く、食材が厳選されていることがうかがえます。



食器類などの土器も多量に出土しており、史料ではほとんど残っていない、地方の館で行われた宴会の実態を示す貴重な資料です。管轄の各郡を視察に来た国司などを、郡役所の館でもてなす宴が催された様子を想像することができます。

次回は、いよいよ！
『カマドの神様』です。
お楽しみに！

